



燕市「読解力」育成プロジェクト通信

「コグトレ」で学びの土台を強化

令和5年度から、「コグトレ」を全小・中学校で実施しています。「コグトレ」とは、学びの土台となる認知機能を強化するトレーニングのことです。これに取り組むことが、読解力の育成を補完することにつながると考え、取り入れています。令和5年度は、「コグトレ」の関連書籍を各校に配付するとともに、「コグトレ」のオンライン版「コグトレオンライン」を小学校低学年と小・中学校特別支援学級在籍児童生徒が活用できるようにしました。そして、今年度は、「コグトレオンライン」の対象を、小学校全学年児童と中学校特別支援学級在籍生徒に広げて実施しているところです。

各校では、燕長善タイム等を活用し、週1回「コグトレ」に取り組むよう計画しています。パズルやゲームのような内容でトレーニングメニューが構成されているため、集中して取り組む姿が見られる、と聞いています。

子どもたちが楽しみながら学びの土台である認知機能を強化することができるよう、取組の継続をお願いします。



第1回授業力アップ研修

5月に、第1回授業力アップ研修を開催しました。本研修は、新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業の1つです。国語、算数・数学、英語・外国語の3教科について、教授を招聘し、授業づくりについてのご講演をいただきました。燕市の読解力育成と関連した話や現在の教育課題に即した話を聞くことができ、学びの多い研修になりました。参加者の感想を一部紹介します。



- ・燕市の「読解力」育成プランと関連させた教材研究の進め方について演習できたことがよかった。いつでも語句を調べられるような環境を整備することが大切だということが分かった。辞書やクロームブックをいつでも使用できる場所に置くなど、明日からの授業に生かしていきたい。(国語)
- ・問題提示や自力解決の意義について知ることができた。ただ話を聞くだけでなく、具体的な単元を例に他校の先生と議論し合いながらの研修であったため、より理解を深めることができた。(算数・数学)
- ・教授の講話が現在の教育課題の実態に即しているのも、大いに役に立った。また、近隣小学校、中学校区の教員とも情報共有が行えたり、悩みや不安を分かち合えたりしたことも、大変意義のある時間であった。(英語・外国語)

リーディングスキルテスト

令和6年度も、小学校6年生から中学校3年生までを対象に、リーディングスキルテストを実施します。6月から7月にかけて、各校で決めた日に実施をお願いします。

今年度から、結果やアドバイスが記載された個票をダウンロードすることができるようになりました。子どもたちが読解力育成を意識して学習することができるよう、有効にご活用ください。

